

「横浜みどりアップ計画」地域緑のまちづくり

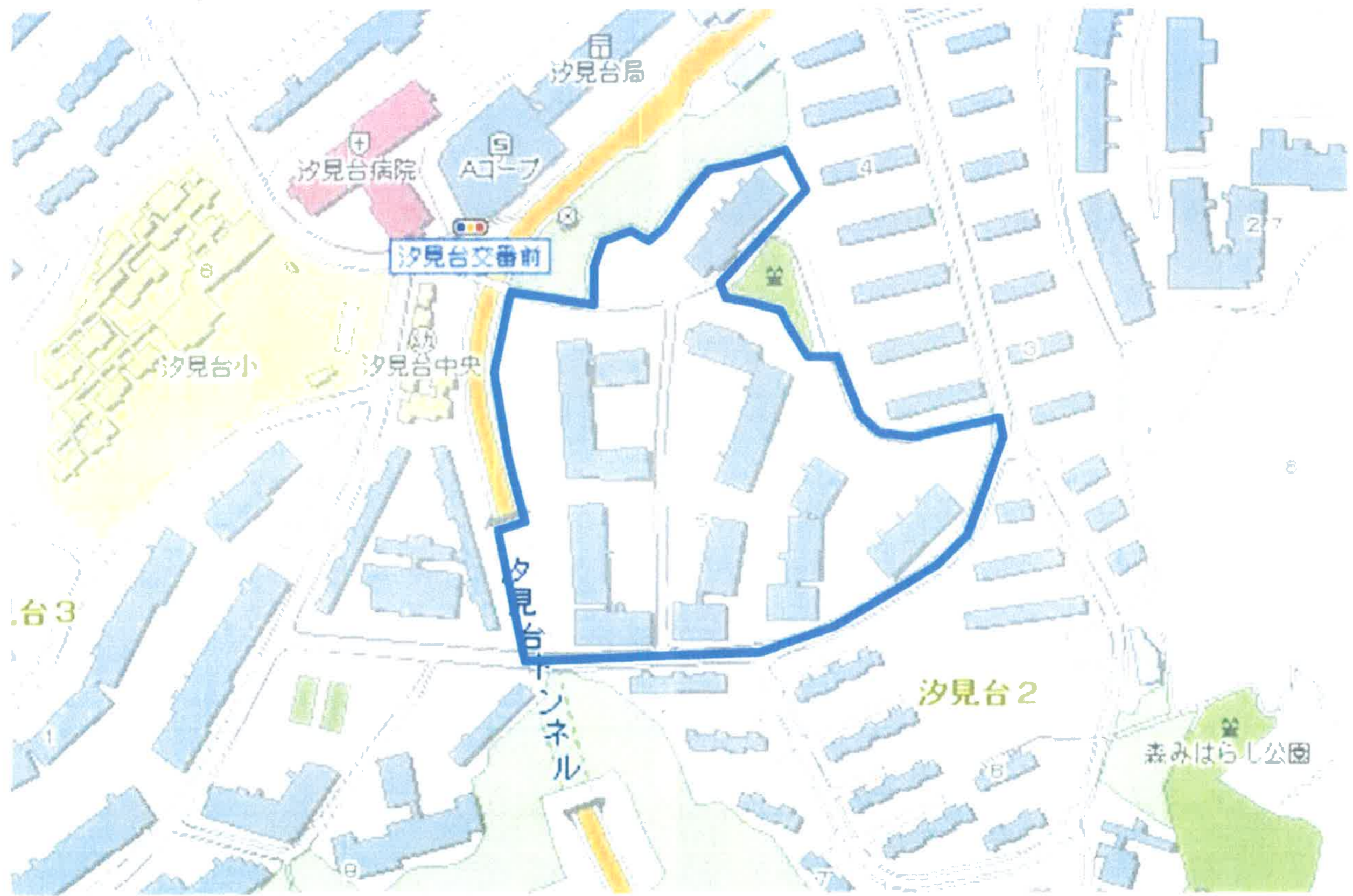
## 汐見台2丁目地区 地域緑化計画書

計画名：汐見台地区における花と緑のまちづくり

推進団体名：汐見台 花と緑のまちづくり会

この地域緑化計画書は、公開します。

計画対象範囲図 (29-11 汐見台における花と緑のまちづくり)



計画期間	平成29年度 ～ 平成31年度
課題及び背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 汐見台2丁目地域においては、道路周辺の法面等で緑エリアは一応存在しているが、現状、雑草が生い茂って全く整備が施されていない箇所（以下、「雑草エリア」という。）が多い。</li> <li>・ また、春の桜以外、目に映える花が少なく、殺風景な地域だと感じている。</li> <li>・ さらに、ヒルコートテラス横浜汐見台団地の世代構成は、子育て世代とシルバー世代が混在しており、世代間交流・ふれあいの場が少ない。</li> <li>・ 団地内の自治会やボランティアサークル「グリーンサポーター」の会合で汐見台2丁目地域の緑化や地域ふれあいについて話しをしたところ、同じように感じている仲間が大勢いることが分かった。</li> </ul>
計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 汐見台2丁目地域内の雑草エリアのうち、特に地域の住民の目につきやすい道路周辺のエリアを4箇所選定して、それぞれの場所の特性に合わせた別々のテーマ（エリアネーム）で、花や緑の整備を行うことを計画した。</li> <li>・ B棟地区（法面）は、「花の滝ストリート」として、道路沿いの法面に土留めを2段設置した上、枝垂れる低木を植栽して歩行者の目を楽しませる。</li> <li>・ C棟地区（法面）は、「ハーブの丘」として、法面に土留め等を設置した上、ハーブを植栽し、景観、香りとともに、住民が収穫も楽しめる場をつくる。</li> <li>・ E棟地区（傾斜地）は、「ファミリーガーデン」として、多数の花壇や作業道を設置し、花壇内に色彩豊かな草花を、また、その周りに低木や地被植物を植栽し、住民がふれあえる庭園にする。</li> <li>・ F棟地区（傾斜地）は、「木漏れ日の緑道」として、歩道沿いに土留め等や花壇を設置した上、日陰でも育つ低木や地被植物、草花（花壇内）を植栽し、子供達の通園・通学時の遊歩道にする。</li> <li>・ 「汐見台 花と緑のまちづくり会」を組織して、当活動を地域へ広くPRするとともに、住民の花や緑に関する知識・技能を高められる講習会等を開催し、地域全体の緑化に関するスキルアップを図る。そして、整備する花壇への花の植栽やハーブの摘み取り等を住民参加で行うことを企画し、地域交流の活性化や「グリーンサポーター」の発掘を目指す。</li> </ul>
課題解決及び効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各々の雑草エリアを、その場所に合ったテーマ（エリアネーム）を決めて、たくさん花や低木等を植栽し整備することで、殺風景だった景観がエリア毎に特長を持った色彩豊かなものとなり、地域の環境が大きく改善される。</li> <li>・ 良質な景観の緑化エリアが増えれば、地域住民の緑化への関心度が高まると思われ、緑の担い手「グリーンサポーター」が増える効果が期待できる。</li> <li>・ 花壇を多く設置することにより住民が自分達の好きな花を自ら植栽することができ、この植栽を通じて、子供からシルバー世代まで多くの住民がふれあえる機会を創出できる。また、「ファミリーガーデン」は、地域の憩いの場となる。さらに、バス通りから見える「ハーブの丘」は、景観だけでなく、その香りで歩行者に癒しを与え、収穫の楽しみ（ハーブティー、料理、リース作り等）も持てる場となる。</li> </ul>

計画年次	計 画 内 容
<b>1年度目</b> (平成 29 年度)	<p>&lt; 1年度目 (29年度) &gt;</p> <p>○民有地緑化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ B棟地区「花の滝ストリート」のうち道路脇で、緑化整備 (土留め2段設置～低木植栽)</li> <li>・ F棟地区「木漏れ日の緑道」で、土留め設置等の基盤整備 (第一次整備)</li> </ul> <p>○地域緑化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民による緑化維持管理活動のための園芸資材購入</li> <li>・ 住民参加による植栽に関する講習会の実施</li> <li>・ 地域へ会の活動を周知するための広報活動 (広報誌の発行。2月または3月に1回)</li> </ul>
<b>2年度目</b> (平成 30 年度)	<p>&lt; 2年度目 (30年度) &gt;</p> <p>○民有地緑化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ C棟地区「ハーブの丘」で、緑化整備 (土留め・階段設置～ハーブ植栽)</li> <li>・ F棟地区「木漏れ日の緑道」で、花壇設置・土壌改良・低木や地被植物植栽等の緑化整備 (第二次整備)</li> </ul> <p>○地域緑化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民による緑化維持管理活動のための園芸資材購入</li> <li>・ 住民参加による「木漏れ日の緑道」の花壇への草花の「植栽会」の実施 (年1回)</li> <li>・ 住民参加による植栽やメンテナンス等に関する講習会の実施 (年2回)</li> <li>・ 住民参加によるハーブに関する講習会の実施 (年1回)</li> <li>・ 住民参加による「ハーブの丘」での「ハーブ収穫祭」の実施 (年1回)</li> <li>・ 地域へ会の活動を周知するための広報活動 (広報誌の発行。年2回)</li> </ul>
<b>3年度目</b> (平成 31 年度)	<p>&lt; 3年度目 (31年度) &gt;</p> <p>○民有地緑化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ B棟地区「花の滝ストリート」のうちバスケット場横で、緑化整備 (低木植栽)</li> <li>・ E棟地区「ファミリーガーデン」で、花壇設置・土壌改良・低木や地被植物植栽等の緑化整備</li> </ul> <p>○地域緑化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民による緑化維持管理活動のための園芸資材購入</li> <li>・ 住民参加による植栽やメンテナンス等に関する講習会の実施 (年3回)</li> <li>・ 住民参加による「ファミリーガーデン」の花壇への草花の「大植栽会」の実施 (年1回)</li> <li>・ 住民参加による「ハーブの丘」での「ハーブ収穫祭」の実施 (年1回)</li> <li>・ 地域へ会の活動を周知するための広報活動 (広報誌の発行。年2回)</li> </ul>
<b>資金計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑化整備での工事費等の自己負担分については、ヒルコートテラス横浜汐見台団地管理組合の管理費 (植栽管理予算) の中から捻出する。</li> <li>・ 従って、自己負担分が極力、管理組合の植栽管理予算の枠内におさまるように、事業規模を検討した。</li> <li>・ 管理組合から「汐見台 花と緑のまちづくり会」に自己負担分と助成対象分を含めた当事業費を仮払いする形で、当事業の資金的な面を手当とする。</li> <li>・ 上記内容は、平成 29 年 8 月 26 日に開催された管理組合総会で同意を得た。</li> </ul>

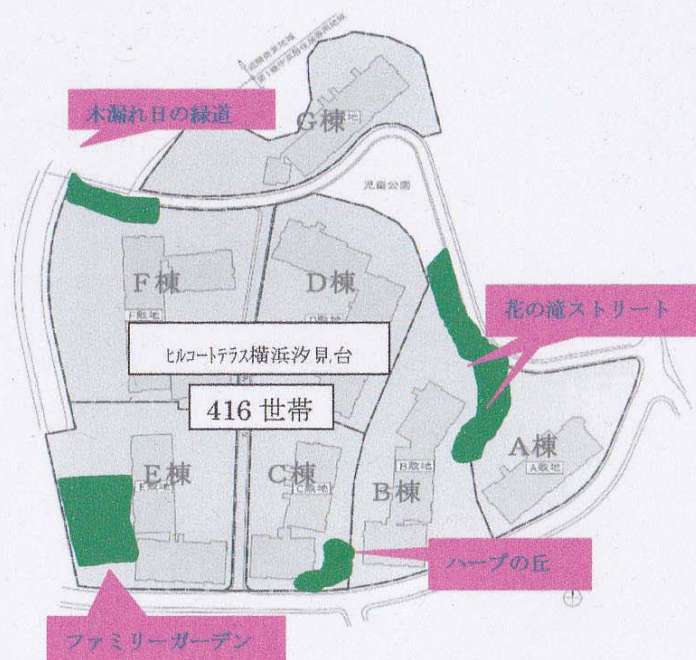
<p>計画期間中の活動について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間中は、助成金を活用して、特に地域の住民の目につきやすい4箇所の雑草エリアを緑化し景観の向上を図り、地域住民の緑化への関心度を高める。</li> <li>・それぞれテーマを持って整備する4箇所のエリアネーム「花の滝ストリート」「ハーブの丘」「ファミリーガーデン」「木漏れ日の緑道」の表示看板を作り、立て掛けることで、愛称も含めて整備エリアを地域全体にPRし、親しみを持っていただく。</li> <li>・住民が花や緑に関する知識・技能を高められる各講習会や、整備エリア内での「植栽会」、「ハーブ収穫祭」等のイベント開催を企画して、子供からシルバー世代までの世代間交流・ふれあいの場を創出するとともに、これらの活動によって、緑の担い手「グリーンサポーター」を発掘していく。</li> <li>・地域住民に対し定期的に広報紙を発行し、当会の緑化活動の取り組み状況について理解を深めてもらうとともに、「グリーンサポーター」の新規加入を呼びかける。</li> </ul>
<p>計画期間終了後の活動について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間終了後も、当会は「グリーンサポーター」が中心となって運営していき、管理組合、自治会の緑化担当役員は「グリーンサポーター」に加入する仕組みを継続して、当会と管理組合、自治会との連携は切らさず保っていく。</li> <li>・計画期間終了後も、地域住民対象に、「植栽会」(植替え)、「ハーブ収穫祭」や安全な場所での「草取り大作戦」等の住民参加イベントを定例化し開催していく。また、イベントのマナー化防止にも留意する。さらに、これらの活動を通じて「グリーンサポーター」の増員拡大を図っていく。</li> <li>・維持管理対応チーム(下記参照)が中心となって策定する「自主的な緑化維持管理マニュアル」に沿って、計画期間終了後、「グリーンサポーター」が自主的な維持管理を担っていく。</li> <li>・「管理組合ニュース」(管理組合広報紙)の中で緑化活動について適宜広報する。</li> </ul>
<p>組織づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当会は、管理組合や自治会と連携した組織(全てのメンバーが管理組合員であり自治会員である)として、協調して地域ぐるみの活動ができる体制づくりをする。具体的には、管理組合や自治会の役員が当会の運営委員に加わる仕組みとする。</li> <li>・会の体制と役割分担を明確にするため、下記のとおり4チーム編成とする。 ①事務対応チーム、②工事対応チーム、③住民対応チーム、④維持管理対応チーム</li> <li>・会の運営委員は一人1チーム以上に参加して、1チーム5人前後で、各々のチームリーダーを中心として、チームで担当分野の活動を推進していく。</li> <li>・運営委員会の中で各チームの活動状況を確認して、全体的に問題を共有し、チーム間連携を図る。</li> </ul>
<p>創意工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑草エリア4箇所の特性に合わせた整備を計画し、その内容にマッチするエリアネーム(「花の滝ストリート」「ハーブの丘」「ファミリーガーデン」「木漏れ日の緑道」)を付けて、多彩な緑化(景観アップ・香り・楽しみ創出)と親しみある整備エリアの愛称を地域にPRする。</li> <li>・「ファミリーガーデン」「ハーブの丘」「木漏れ日の緑道」等、地域住民が花と緑を通じて世代間でふれあえる(楽しく参加できる)場所を創出する。</li> <li>・当団地内は、比較的高木が多く落ち葉が大量発生して廃棄処分している問題点を、「もったいない」的な発想でとらえて、落ち葉を団地内に設置するボックス内に集積し腐葉土の醸成を行い、緑地帯へ還元することで、「循環型緑化」を目指す。</li> </ul>

1. 計画概要

	プロジェクト名	場所	具体的計画
1	花の滝ストリート	B棟法面	プラスチック擬木による2段の土留めを道路沿いに行い、枝垂れる低木を植える
2	ハーブの丘	C棟法面	傾斜地を整備して、回遊式の花壇風に整備し、ハーブを植え、住民参加型の講座も開設する
3	ファミリーガーデン	E棟法面	プラスチック擬木による花壇(2m×1m)を10個程つくり周辺に作業道を整備させる
4	木漏れ日の緑道	F棟法面	古い樹木の緑陰を楽しむ花のある風景を演出する

2. 場所詳細

(横浜市磯子区汐見台二丁目)



3. 計画イメージ

B棟法面(花の滝ストリート)



C棟法面(ハーブの丘)



F棟法面(木漏れ日の緑道)



4. 活動計画

- (1) 実施主体 「汐見台 花と緑のまちづくり会」
- (2) 計画内容
  - ア. 地域住民による花の苗の植栽会 (講習会を含む)
  - イ. 地域住民による維持管理 (除草、灌水)
  - ウ. 花や緑に関する講習会
- (3) 地域緑のまちづくり事業終了後の予定  
「汐見台 花と緑のまちづくり会」で (2) について地域緑のまちづくり事業終了後も継続して実施する

E棟法面(ファミリーガーデン)



概算事業費（単位：千円）（注1,5）

助成項目	細目	1年度目（平成29年度）	2年度目（平成30年度）	3年度目（平成31年度）	項目ごとの合計	※【参考】 助成率・助成金額の上限	
1 民有地緑化	①設計等経費	585	450	405	1,440	100%以内	
		(主な内容) ◆B棟地区「花の滝ストリート」道路側の設計 ◆F棟地区「木漏れ日の緑道」第一次整備の設計	(主な内容) ◆C棟地区「ハーブの丘」の設計 ◆F棟地区「木漏れ日の緑道」第一次整備の設計	(主な内容) ◆B棟地区「花の滝ストリート」バスケット場側の設計 ◆E棟地区「ファミリーガーデン」の設計			
	②緑化整備等経費 (注2)	4,000	4,300	4,300	12,600	90%以内	
	(主な内容) ◆B棟地区「花の滝ストリート」道路側（約40m）で、土留め2段設置～低木植栽等の緑化整備 ◆F棟地区「木漏れ日の緑道」で、土留め設置等の基盤整備（第一次整備）	(主な内容) ◆C棟地区「ハーブの丘」で、土留め・階段～ハーブ植栽等の緑化整備 ◆F棟地区「木漏れ日の緑道」で、花壇設置・土壌改良・低木や地被植物植栽等の緑化整備（第二次整備）	(主な内容) ◆B棟地区「花の滝ストリート」バスケット場側（約30m）で、低木植栽等の緑化整備 ◆E棟地区「ファミリーガーデン」で、花壇設置・土壌改良・低木や地被植物植栽等の緑化整備				
	合計額 (注9)	概算事業費 4,585 (助成見込額) (4,185)	概算事業費 4,750 (助成見込額) (4,320)	概算事業費 4,705 (助成見込額) (4,275)	14,040 12,780		
2 景観木保全	①調査費	0	0	0	0	100%以内	
	②診断書作成費	0	0	0	0	100%以内 (上限20千円/本)	
	③治療費	0	0	0	0	③と④は各景観木1本につき、合計50千円以内	100%以内 (上限50千円/本)
	④環境整備費	0	0	0	0		100%以内 (上限50千円/本)
	合計額 (注9)	概算事業費 0 (助成見込額) (0)	概算事業費 0 (助成見込額) (0)	概算事業費 0 (助成見込額) (0)	0 0		
3 地域緑化活動 (注3)	①維持・管理費	685	300	345	1,330	100%以内	
	②広報・研修費	120	360	360	840	100%以内	
	③事務費	5	10	10	25	①～④の合計 1,000千円以内/年度	100%以内 (上限100千円/年度)
	④諸雑費	5	10	10	25		100%以内 (上限40千円/年度)
	合計額 (注9)	概算事業費 815 (助成見込額) (815)	概算事業費 680 (助成見込額) (680)	概算事業費 725 (助成見込額) (725)	2,220 2,220		
年度ごとの合計 (注4,6,7,8)	概算事業費 5,400 (助成見込額) (5,000)	概算事業費 5,430 (助成見込額) (5,000)	概算事業費 5,430 (助成見込額) (5,000)	16,260 15,000	総合計	1～3年度の合計5,000千円以内/年度	

(記入時の注意事項)

注1：各細目には、提案計画の助成金と自己負担金を含めた概算事業費（予定金額）を記入してください。計画がない項目や細目は、0（ゼロ）を記入してください。

注2：民有地緑化の緑化整備等経費には、最低10%の自己負担金が必要となります。（助成金申請時に、自己負担金が用意できることが助成金交付の要件となります。）

注3：地域緑化活動の助成項目では、1年度につき1,000千円が助成金額の上限となります。

注4：民有地緑化、景観木保全、地域緑化活動の助成金の合計は1年度につき5,000千円が助成金額の上限となります。（3年度総合計の助成金額の上限は、15,000千円です。）

注5：千円単位で記入してください。（なお助成金額は、千円未満切り捨てとなり、端数は自己負担金となります。）

注6：本概算事業費の年度ごとの合計金額を上回る助成金の申請はできません。

注7：年度ごとの概算事業費を作成することとし、年度間での助成金のやりとりはできません。（年度ごとに助成事業を完了させる必要があります。）

注8：上限内での年度ごとの項目内における、細目間での事業計画の見直しは、可能です。（29年度の地域緑化活動における維持管理費を増やし、その分の広報研修費を減らすなど）

注9：各項目内における細目の合計欄には、概算事業費（予定金額）と、助成見込額の合計を記入してください。なお、助成見込額には、（ ）を付けてください。